

2023年7月11日

パナソニック ホームズの建物設計における優秀事例全15件を選出
『2022年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』を表彰
～より高いデザインオリティの設計提案に向けて～

パナソニック ホームズ株式会社は、このたび、毎年、当社の建物設計における優秀事例を選出して表彰する社内制度『2022年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』（以下、当表彰）において、2022年度の最優秀事例5件をはじめとする全15件を選出しました。

当表彰は、当社の設計従事者の提案力やモチベーションの向上、優秀事例における特長・工夫の水平展開を目的として2016年度から毎年開催。1次・2次の書類審査を経て、最終審査はコンペ形式により、設計者自らが、設計計画をはじめ、オーナー様への提案プロセスについて審査員にプレゼンテーションを行い、総合的な設計提案力を評価する内容になっています。

近年、オーナー様は、新築・リフォームする住宅や事業用建物について、外観をはじめさまざまな空間の設計に自身の感性やこだわりを反映させたい傾向が増えています。当社は、こうしたニーズに、設計従事者が、より高い提案力とデザインオリティで応えることができるよう、スキルアップに向け、当表彰の開催やさまざまな教育研修活動を図ってまいります。

当表彰では、評価内容により、「総合デザインコース」「設計デザインコース（中小型・大型）」「空間デザインコース」「事業用物件コース」「リフォーム・海外コース」の6つのコースを設定し、1次・2次審査を実施。6月1日の最終審査では、2次審査を通過した15例の中から、最優秀賞5名をはじめ、新人賞2名（うち1名は最優秀賞とダブル受賞）が選定されました。

今回選出された優秀事例に対する審査員の概評は、オーナー様の住まいに対する思いを引き出して具現化できているか、オーナー様の期待を超えるアイデアや魅力付けができているかが、評価のポイントとなりました。



総合デザインコース 最優秀賞事例 外観
[設計:近畿支社]

■『2022 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』 概要

名 称 : 『2022 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』

主 催 : パナソニック ホームズ株式会社 設計部

審 査 : ① 応募受付 2022 年 4 月～12 月
② 1 次審査 2023 年 1 月
③ 2 次審査 2023 年 3 月
④ 最終審査 2023 年 6 月 1 日

コ ー ス : 【新築戸建住宅】
総合デザインコース
設計デザインコース(中小型・大型)
空間デザインコース
【事業用物件】
事業用物件コース
【リフォーム物件・海外物件】
リフォーム・海外コース

賞 : ● 最優秀賞
5 例・上記 6 コースのそれぞれにおいて最も優れた事例を選出
(設計デザインコース(中小型)においては、2 次審査の結果該当者なし)
● 新人賞
2 例・2 次審査通過者のうち、2016 年度以降に定期入社した応募者で
上記 6 コースのそれぞれにおいて最も優れた事例を選出
● 奨励賞
2 次審査通過者のうち、2019 年度以降に中途入社した応募者で最優秀賞・
新人賞以外の事例を選出
● 入賞 2 次審査通過者のうち、最優秀賞・新人賞・奨励賞以外の事例

対 象 者 : 支社、協業会社、海外事業部門、パナソニック リフォーム(株)に所属する
社員のうち、1 級建築士・2 級建築士・インテリアコーディネーターのいずれかの
資格を有する設計従事者

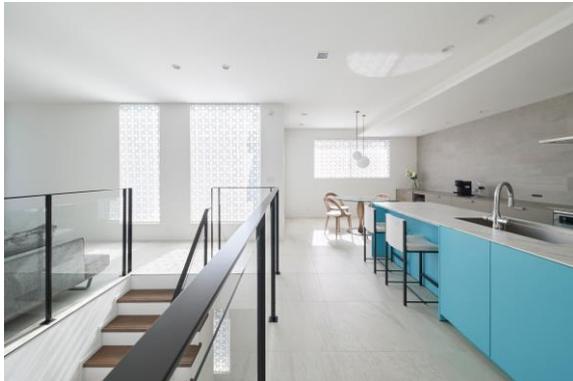
対 象 事 例 : 2021 年 10 月～2022 年 9 月完工の事例 ※当社展示場等の用途を除く

応 募 総 数 : 243 事例

審 査 員 : パナソニック ホームズ(株) 主要役員
建築家 連 健夫(むらじ たけお) 氏

■ 『2022 年度アーキテクト・オブ・ザ・イヤー』 表彰事例

● 総合デザインコース 最優秀賞 [設計:近畿支社]



3階の開放的なLDK

【特長】 テーマは「にぎわう街でのスローライフ」。商店街に隣接する立地のため、外からの視線や音を気にせず、ゆったりした時間が過ごせるよう間取りを計画しました。3階のLDKは天井高2.7メートルの区切りのない明るい大空間で非日常感を演出。中心に階段を配置することで、ダイニングキッチンとリビングをゆるやかに区切り、心地よい距離感の中、ゆとりあるくつろぎの時間が過ごせます。また、玄関ホールは外部の喧騒を感じさせないよう、広さと明るさを確保。さらに、浴室や洗面所などの水廻りを1階にまとめることで、スムーズな帰宅・家事動線とし、すっきりとした暮らしを実現しました。

【評価ポイント】 相反する時間をひとつの住まいで実現させるというコンセプトが分かりやすく良い。難しい敷地条件であるが、動線や空間構成などの工夫でご要望を上手くまとめている。

● 設計デザインコース(大型物件) 最優秀賞 [設計:東京支社]



玄関脇の広い土間空間

【特長】 テーマは「こだわり土間空間のある二世帯住宅」。玄関は世帯別、親世帯は3階とし、子世帯の玄関脇には趣味の部屋やゲストルーム、セカンドリビングとしても活用できる約10畳の「土間空間」を新しい暮らし方として提案しました。壁一面にキャンプ道具を飾り、映画鑑賞やスポーツ観戦を楽しめる空間です。このほか、機能性を兼ね備えたスタイリッシュな2種類の玄関アプローチやお気に入りのインテリアで統一したLDK、効率的な家事動線等、二世帯が快適に暮らせる間取りとしました。

【評価ポイント】 広い土間空間の提案が活きている。収納スペースや動線、使い方などよく検討されている。オーナー様のご要望を引き出す工夫などコミュニケーションの取り方も好印象。

● 空間デザインコース 最優秀賞 [設計:近畿支社]



2階の明るいLDK

【特長】 テーマは「Nuance color coordinate」～マテリアルの様々な表情を引き出すコーディネート～。2階のLDKは、素材やカラー、サイズにこだわった造作家具で、すっきりと美しい印象に仕上げました。勾配天井から降り注ぐやわらかな光が、空間に広がりゆとりを持たせます。また、空間ごとに質感の違うタイルや間接照明を取り入れることで、玄関ホールをはじめ、洗面スペースやLDKまで、各空間を表情豊かに演出。流行に敏感なオーナー様の好みを理解し、写真では伝わりにくいカラーの素材やニュアンスがあるものはサンプルを取り寄せ、インテリア提案を細部まで行いました。

【評価ポイント】 SNSからイメージを共有し、インテリア提案につなげたところが良い。オーナー様のご要望に寄り添った提案で、主張しすぎないインテリアが心地よい空間を生み出している。

● 事業用物件コース 最優秀賞 [設計:神奈川支社]



最上階のスカイデッキ

【特長】 テーマは「OKOMORI SKY LIVING」。7階建て店舗・賃貸併用住宅。新型コロナウイルス感染症流行の影響により、自宅に籠りながら外を感じたい、というオーナー様の想いを受けて、最上階のご自宅は眺望の良いスカイデッキを設け、LDK からデッキにつながる明るく開放感あふれる間取りとしました。また、賃貸住宅(2~6階)の共用部は全面タイル貼りとし、間接照明により上質な空間を演出。1階共用部分は、オーナー様のご希望で、ハワイアンテイスト中心のインテリアとしました。また、1階の駐輪場を建物の中へ収容することで、すっきりした印象の外観に仕上げました。

【評価ポイント】 オーナー様のご要望の変化に対応したスカイデッキの提案が良い。ご要望の「外を感じる住まい」が具現化できている。商品の強みを生かしたシンボリックな建物計画が好印象。

● リフォーム・海外コース 最優秀賞・新人賞 [設計:パナソニック リフォーム(株) 近畿支社]



インダストリアルなデザインのLDK

【特長】 テーマは「みんなで集うロフトのあるLDK」～フォトジェニック×インダストリアル～。築30年の3階建て、2階の水廻りと3階(約80㎡)をリフォームしました。オーナー様からは、「スターバックスのような空間にしたい」とのご要望があり、インテリアについては、グレー・木目・ブラックの3つの要素を取り入れたインダストリアルなデザインで統一。また小屋裏収納をロフトへ改装する提案を行い、LDKから梯子でつながる秘密基地のような空間が実現しました。このほか、間接照明の柔らかな光を随所に取り入れることで、ホテルライクでリラックスできる雰囲気演出しています。

【評価ポイント】 他社との差別化にもなった思い切ったロフトの提案が良い。SNSを活用した提案手法や建具、照明など丁寧なつくりこみができていた点も好印象。

◎ パナソニック ホームズ エキスパート デザイナーの詳細はこちら

<https://homes.panasonic.com/designer/>

* 本件に関するお問い合わせ先 *

パナソニック ホームズ株式会社 宣伝・広報部 広報課 澗随(かんずい)

TEL: 080-8544-4376 / E-mail: kanzui.naho@kk.panasonic-homes.com

HP: <https://homes.panasonic.com/company/news/release/>



パナソニック ホームズは 2023 年に創業 60 周年を迎えます。これまでの「感謝」を新たな「挑戦」への力に変えて、暮らしを起点に事業活動を拓けます。

お客さま一人ひとりに寄り添い、心豊かな暮らしと持続可能な社会の実現を目指し、邁進してまいります。